

(空き家、廃校舎の活用)

吉川は大変住みやすい町だが、少子高齢化が進み空き家が増加している。廃校になる小学校もある。それらを活用し、地震の際の世帯避難所として活用する。それをきっかけにして吉川町への移住につながるのではないかと期待している。

(地方部の通信環境整備が必要)

コロナ禍で大阪などからテレワーク・移住に関する問い合わせを多数受けたが、光回線が充実していない。個々の住宅や新しいアパートは設備が整っているが、古いアパートなどは取り残されている。

(雇用確保のために産業団地が必要)

町民の中でも特に若者が定着するためには雇用の確保が重要。吉川町は中国自動車道、舞鶴近畿道、山陽自動車道の高速道路が整備されていて非常に交通アクセスが良い所だ。子どもたちの将来の雇用確保のためにも産業団地の開発が必要だと感じる。

(公立高校にゴルフ部創設)

高校生のゴルフ部創設の応援をしていただきたい。ゴルフ部からプロゴルファーが誕生し活躍すると、話題性ができる。ゴルフを通じて若者が集うような活気のある町づくりをお願いしたい。

(北播磨を高齢者の安心モデルタウンに)

買い物もしやすく医療も充実して受けられるメリットを生かし、北播磨を高齢者を呼び込むモデルタウンにする。シルバーの労働力の供給源となって企業を呼び込み、優秀な外国人も来てくれるような先進的な地域とする。

(物流のさらなる充実)

吉川は高速道路を活用した物流拠点としては一等地だが、陸だけでは弱い。この地区に貨物機が着陸できる空港がほしい。空と陸をつなぐ巨大な物流ネットワークを構築し、人と物を増やしていくことが重要だ。

(環境問題をゴルフ場からもPR)

日本有数のゴルフ場立地を誇る兵庫県で、7月からビニール袋有料化が実施された。県の環境問題にゴルフ場も特別に取り組んでいることはPRになると思う。

(若者が伸び伸びと活躍できる農村づくり)

北播磨地区は兵庫県下の20%の耕地面積を誇る農業大国。30年後も農業で北播磨の未来を築くために、さらなる農産物のブランド化、または品質向上が不可欠。

田舎は非常に閉鎖的な人が多く、新しい若者が自由に伸び伸びと活躍できるような農村づくりが必要。他の地域から入って就農でき、さらに生き生きと経営ができるようにしないといけない。

(変わらないことが新しい価値)

何かを建設して吉川が発展するという考えではなく、「変わらない吉川」という良さが新しい価値になってくる。30年後も変わらない吉川にたくさんの人が集まってほしい。

(老も若きも外国人も元気があるまちに)

活気があって、老も若きも外国人も、元気がある雇用の場になればいいと思う。

(郊外型の農業は魅力)

交通の利便性の良さを生かした郊外型の農業は魅力がある。県、市、地域、農協などが協力し、地産地消で地域の自給率を高めたい。